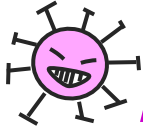


感染症に気をつけよう!!

2023年11月号

横浜市衛生研究所

感染症情報センター 10月30日発行



横浜市内の感染症流行状況



感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
インフルエンザ**	注意報	増加	例年の同時期に比べて、報告が多いです。10月5日に注意報が発令されました。【臨時情報】
梅毒**	発生	横ばい	20~50代を中心として、報告数の多い状況が続いています。【政府広報動画】【無料・匿名検査】
咽頭結膜熱**	発生	増加	例年夏にピークがありますが、7月下旬からの増加傾向がまだ継続しています。【ちらし】

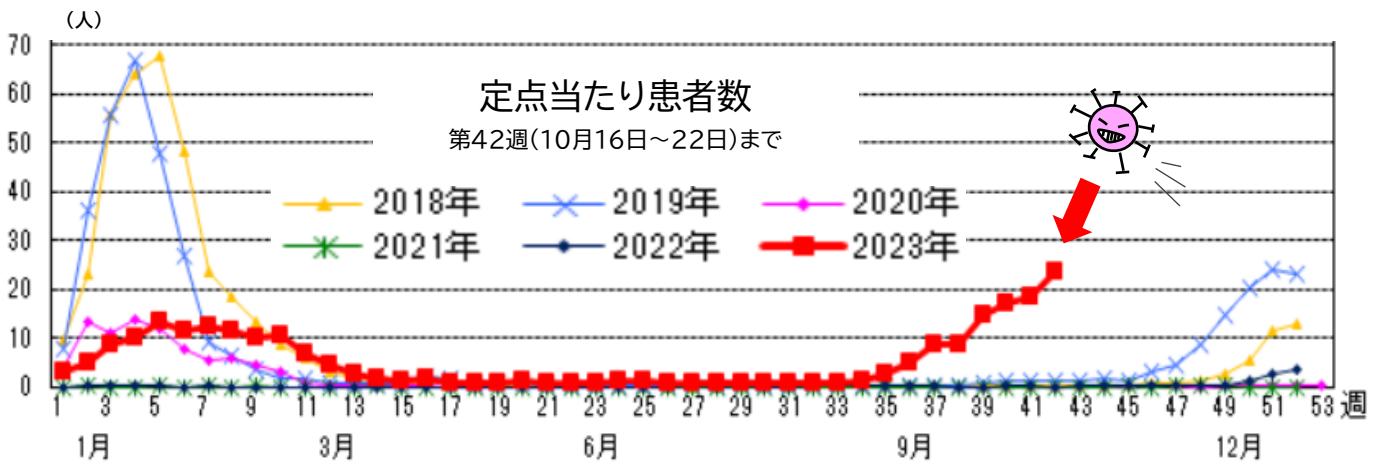
* 国立感染症研究所

** 厚生労働省

今、気をつけたい感染症 インフルエンザ



新型コロナウイルス感染症の影響で、これまでインフルエンザの流行が低い水準だったとされているよ。そのこと等が影響して、インフルエンザウイルスのA(H1N1)亜型*やA(H3N2)亜型*の抗体を持ち続けている人の割合が、全ての年齢で低下傾向にあるんだって。*



つまり、今年はインフルエンザの流行が起こりやすい状況にあると考えられるんだね。例年より早い本格的な流行に、咳エチケットや正しい手洗い**でしっかり備えよう。

※ 亜型
ウイルスの表面にある突起の違いによる分類のこと。

